

ぎょうむそくほう

No.594

2022年10月24日

【ダイジェスト】



東海旅客鉄道労働組合

<https://union.jrtu.jp>



「ハートフルカンパニービジョン ⇒2027」の取り組み推進!

~~Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION~~

2022年度「年末手当」交渉スタート!

改めて安定支給ベースである「2.9箇月」満額支給を要求!

~~Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION~~

JR東海ユニオンは10月24日、申第4号「2022年度年末手当に関する要求について」に基づく団体交渉を開催し、「基準内賃金及び補償措置額の2.9箇月分」「12月9日支給」の実現に向けて、会社に対して要求の趣旨を強く主張した。

上半期の振返りについては、ぎょうむそくほうNo.1464にも掲載したとおりであるが、各現業・非現業機関で昼夜を問わず、鉄道運行や医療、諸施策の推進に奮闘したJR東海ユニオン組合員の懸命な努力の賜物であり、これにより、一定の黒字化を予想するまでの状況に至ったものである。

期末手当は、組合員にとって生活給として極めて重要な位置付けにあり、一時の業績だけをもって乱高下するようなことがあってはならない。組合員のこの間の奮闘、そしてコロナ禍への対応と努力は、満額回答に十分値するものであり、今こそ、安定支給ベース2.9箇月の支給を強く求めていく。

「将来宣言」にある、将来にわたって日本の大動脈と社会基盤の発展に貢献するという使命を果たし続けている組合員の頑張りに報いるべく、これまで築き上げてきた労使関係を基軸に、中央本部はこの年末手当交渉に全力で取り組んでいく。

要求月数:基準内賃金及び補償措置額の2.9箇月
支給日:12月9日

※議論内容の詳細については、後日発行の「ぎょうむそくほう」をご確認ください。